



見えない脅威『新型コロナウイルス』により、私たちの生活も活動も一変してしまいました。会員の多くは高齢者と括られる年代。まさかともしもの間で、昨年までとはガラリと変わった暮らしを余儀なくされています。その中であって、新しい会員は、デビューに向けて意気込み努力を、また活動自粛によって浮いた時間に積年の疑問やその答えを探ったり、と様々な時間が流れています。

本号では、そんな皆様の活動や、この時期だからこそこの考察や日常をご紹介したいと思います。

男女の川（みなのがわ）

小町塾 星野 和哉

新型コロナウイルスによる非常事態宣言が解除され、生活が一変しました。三密を避ける・マスクをつける・ソーシャルディスタンスを保つ事で感染防止に努める。日々の生活に気をつけ、うつらない、うつさないことが重要です。がまの油売り口上に関して例年出演している実戦練習の場で公演ができない事態となっております。また令和二年九月から実施予定の講座についても中止となりました。一日も早く新型コロナウイルス終息が訪れ、また元のように油売り口上ができる日を待ち望ん

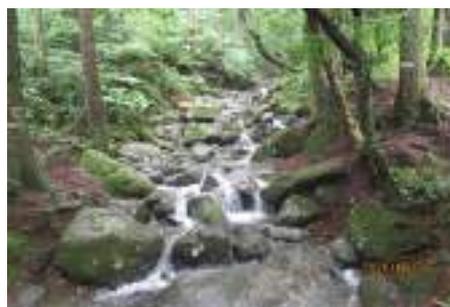
でおります。

さて、がまの油売り口上の中に、古歌「筑波嶺の峯よりおつるみななの川 恋ぞつもりて淵となりぬる」をいれている方が小町塾でも多くいます。私は、ずっとその場所は、どこにあるのか疑問に思っていました。

たまたま自粛期間中、自宅で本を整理していると、赤城宗徳著「新編将門地誌」が出てきました。今まで平将門に関する本を読んでいた事、がまの油売り口上ののぼり旗に自分の家の家紋（平将門の家紋と同じ）九曜星を入れて作っており、興味があつたので読んでみました。

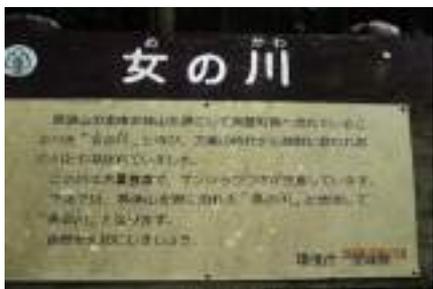
読み進めると、桜川市真壁町羽鳥に「男女の川」があることが次のように書かれていました。「いまの羽鳥は、筑波観光の表口を筑波に奪われているが、かつては羽鳥が表参道であつた。こちらから見ると筑波山は男体・女体がすんなりと並んで険しさがなく、見るからに登ってみたいくなる姿である。この男体からの男川と、女体から女川が、羽鳥の上手で合流し 男女の川となり・・・と。

そこで家内と車で「男女の川」を見に行ってみました。真壁町羽鳥から旧ユースホテルのキャンプ場方面に向かう林道を約四km行くと「男の川」看板があり、さらに進んでキャンプ場方面へ左折。砂利道に入つて数分で小さな沢に出会いました。（実際は初めての道のため、砂利道に入らず直進して行き止まりの登山口まで行つてしまい、ユーターンして戻りました。）この沢に「女の川」の



看板が出ていました。

筑波山ハイキングコースの一つになつていました。体力を鍛え、秋に「男の川コース、女の川コース」にて筑波山に登ることにして、もと来た林道 県道にもどり「男女の川」を探しました。県道にもどつて 羽鳥から真壁市街に一km位行くと「男女の川」を発見。そこから筑波山を遠望すると、まさに本記載のように筑波山を望むことができました。これが探していた「男女の川」か、と実感。長年の疑問が解決しました。



昨年十月に「ガマの油売り口上」講座を受けて約一年が経過。その後コロナの事態が生じ、例会も中止となっている。これまでの日々を振り返ってみたいと思います。

昨年のある日、常陽リビングの講座開設の記事を読み、飛びつきました。ずっと以前にもそのような記事があったものの都合がつかず、見送っていたためです。

期待していた初日、地域の会合があり残念ながら欠席。二回目からは、林会長の声量豊かな迫力ある講座に引き込まれ、また前回受講されたという笹本さんの模範演技にも感動し、いよいよ熱の上がるのを意識したものです。

さてお立会い。帰ってからというものまず何と言つても口上のセリフを我が物にするのが必定。テキストを繰り返し繰り返し返し黙読。しかし、目が活字にある時には次々とセリフが出るが、いざ目を離すと途端に出てこない。そこで最初は小さな声でもいいから「活字から目を離し、抑揚・強弱（自分の気持ちを含め）をつけ、話してみる」をやってみたところ、目からのみならず、耳からの情報もあって、覚えが早くなりました。そこで、立つて振りを付けてやると、セリフに注意が行くと振りが、振りを付けるとセリフが出てこない、の繰り返し。その後ようやく振りとセリフが一体化し、さらに記憶しやすくなりました。条件反射でしょうか。さーてお立会い。

そうして居る内に、いろいろと衣装や小道具をも作ってみたいという衝動にかられ、手始めに

受講後約一年を過ぎた今

サーアサーア、お立会い。御用とお急ぎでない方には、お読み頂けたらありがたい。例会も中止となっている現在、受講後の数ヶ月を振り返り、初舞台への思いと熱意をお読みあれ。

小町塾 宮崎 武

「箱の作成」からと、三浦さんにもアドバイスを頂き、ジョイフル本田へ「米櫃」を見に。しかし小さいながらもいい値段。これなら自分で作ろうと思ひ材料の調達。大きめの物を作ってみたが、とても「米櫃の金額」では治まらず……。しかし色々機能を付加し、満足のいく一品になりました。

次に衣装。古物屋でいろいろ探し、着物・袴・履物をゲット。刀置台があったので刀に先んじて購入。さてメイソンの刀（もちろん模造刀）だ。あつちこつちの古物屋で探すも見つからず結局の所通販で。しかし暫くしてさつき

の古物屋で発見。「もう少し我慢しておれば・・・」。後の祭りでした。さて今度は小物。ガマの油を入れる貝殻。これはハマグリのお陰で美味い吸物を食することが出来て大満足。さらにお馴染みの「印籠」。これは作

れない。そこで見よう見まねで出来たのが、「偽物」とは思えない出来栄え（自画自賛）の逸品。「この印籠が、目に入らぬかあ！」印籠を作つては見たものの、やはり恐れ多くなる紋の



ないのが寂しく、「自分固有の紋」を作ろうと、ガマを図案化やってみました。が、出来たのは「アマガエルのケロちゃん」の感じ。「ないよりむしろ」と思い採用。印籠には勿論、着物・袴・ミニのぼり旗・ハチマキにも付けた次第。

さて、いろいろと揃った。が、なかなか大声を出して練習のできるチャンスがない。コロナ次第だ。さてお立会い。

昔から、自分は新たに何かやる時は、周りから埋めてゆく。初めにゴールを宣言し「どうしても完成させねばならない」処へ追い込む方法でやってきました。笹本さんの演技を見た時、「よし、自分も一年でやる。これが当面のゴールだ」と決めたものです。

また、何をやるにもそれに関してはある程度の知識も必要と思います。現在はインターネットという実に便利は手段があり、なんでも入手・吸収できます。今回もガマの油に含まれている「センソ」に興味があり、ある製薬会社へ問い合わせたところ、日本薬局方公定書には、「六〇八月頃、夜間に灯火を点じ、ヒキガエルを集め、背上の隆起した分泌腺をつかみ、分泌した乳液を捕集する」と書いてある。と教えて頂きました。今も前述のように手間暇かけて、手作りのようですね。高価な事も領づけます。さてお立会い。

下手な長談義もこの辺で。早くコロナが収束し小町塾も活動開始でき、皆さんからの御指導のもと、自分も八十歳での緊張の初舞台がどこかで出来る様、記憶力、体力・気力の維持向上に努力してゆ



準備万端、道具の数々

がまの油売り口上への出逢い

つくばね会 武田 まゆみ

私が生まれたのは秋田県。

縁あって茨城県に来ました。

がまの油売り口上は、テレビで見たことがあったので、知ってはいいましたが、実際に目の前で見たのは、今から十五年くらい前だったと思います。会社の研修で、「つくばね会 グランドホテル」に泊まった時に、がまの油売り口上を宴会の席でお願ひしました。

その時来られたのが、女性の「がまの油売り口上」で、すごくかつこよかった。「できたら、私もやってみたいな。」という気持ちになったのを覚えていています。

何年かして、新聞に第四十回がまの油売り口上講習会を小町の館でやります。参加費無料。という記事を見て、これだ！と思って申し込もうとしたのですが、自分の予定と講習の日がちがわず、あきらめました。

翌年も記事を注意して見ていたら、「第四十一回がまの油売り口上講習会」の記事を見つけました。この年の予定は何とかクリアできそうなので、早速申し込みをし、修了証書を頂くことができました。

無事講習も終わり、せっかく講習を受けたのにこのままやめたのでは中ブライになる。自分で何かをやるチャンスを見つけないと、このままずっとと年老いてしまつて、後で何もできなかった自分に悔いを残してしまう。自分に悔いを残さな

い為にも、その時の勢いで「つくばね会」に入会する事に決めました。

講習の講師だった佐藤さんしか知らない「つくばね会」に初めて参加した日は、不安でいっぱいでした。が、その不安を取り除いてくれたのが、佐藤さんであり、会長の成田さんであり、そして何より女性の池田さんがよく声をかけてくれました。何も知らない私を、みんなが温かく迎えてくれたのです。

まだがまの油口上は全部覚えていませんが、今私はこの「つくばね会」の仲間の人たちと出会えて本当に良かったと思っています。

「自分で楽しみながら、人を喜ばせる」

「自分で楽しみながら、人に優しくなれる」

年々年老いていく自分に、刺激を与えながら、夢を持つことができる。

今は本当に「つくばね会」の皆さんと一緒にいると居心地がいい。

入会したばかりで、まだどこもない私ですが、いつかデビューする日を夢見て、先輩の皆さん方のように、お客様を楽しませ、また自分も楽しみたいと思っています。

今回この原稿を引き受けたのは、入会して間もない私ですが、今の気持ちを伝えたくて書かせていただきました。

皆さん、これからもご指導のほどよろしくお願い致します。

(ひまわりは、正に武田さんのイメージです)



令和2年8月1日



本年度初公演？
大生郷天満宮
八朔祭で熱演の会員

お知らせ

新型コロナウイルス感染拡大予防に伴い、令和2年度の本会の事業はすべて中止となります。

主な事業

- ・がま口上講座
- ・歴史探訪会
- ・忘年会

ほか

お願い

会費未納の方は、お振込みをお願いします。
本年度は経費がほとんどかかっていないので、次年度は会費を徴収いたしません。

オンバコ

水戸教室 尾形志次男



オンバコについては私なりにいくつかの疑問を抱いていましたが、この度、その解を得ることが出来たと思います、記事にしてみました。但し、誤り等があるかも知れませんが、その際はご指摘を宜しくお願い致します。

疑問一 葉が大きいから大葉子と名付けられたそうであるが、道端に生えているものにはそんなに大きなものはないので違和感あり。

解 七年間ほぼ毎日通っている散歩道に偶然**写真A**のように直径五十センチもある大きなものを発見。他の場所にも結構大きなものがあることが分かった。これならば大葉子と言えるものと納得。只、なぜ「子」が付くのか。

これは葉や径の大きさの割には高さが低い為で、背の低いものには「子」を付けるならわしがある為らしい。尚、青ジソの葉を大葉というが、この名が付いたのは一九六一年なので、オオバコとは全く関係なし。

疑問二 昔から薬用、食用として用いられているそうであるが、泥にまみれてあんなに汚いものを食用とは？

解 少しきれいな場所にも生えていないかと探したところ、畑の脇に**写真B**のような場所を発見。道端だけではないということ納得。

尚、折角なので若葉を摘んで重曹でアク出し煮（**写真C**）をして醤油をかけ、お浸しにして少し食べてみたが、若干苦みがあることとボソボソして美味しくはなかった。

疑問三 なぜ別名カエルツ葉というのか。
解 調べたところ次の3つの説を発見。

①死にそうになったカエルを大葉子の葉で包んでやると元気になるから。

②大葉子の葉の形がカエルの背中側に似ているから（**写真B**の葉をよく見て下さい）

③大葉子の葉を炙ると、膨らんでカエルのお腹みたいになるから。

それぞれにもっともな理由ではあると思うが確認出来るものについては確認してみた。

①の**説** これはカエルの種類やカエルのダメージ度合いなどにより、相当数の実験をしなければ確認出来そうにないことと、動物虐待？にもなりそうなので実験はパス。昔そのような例もあったのかと理解したい。

②の**説** 葉の外形といい、5本のスジといい確かにカエルの背中側に似ている。

③の**説** 葉を表や裏側から色々と炙って見たが、**写真D**のようにスジの間が丸まるだけで膨らむ形にはならない。したがって②の**説**が現実的で納得性があるような気がする。

疑問四 現在でも薬草として使用されているのか。
解 **写真E**のようにネット通販されていることが分かった。（お茶としても販売されている。尚、ダイエツト用はサイリウムという別品種）疑問等についての記事は以上の通りですが、それにして「オンバコという露草、薬草を食らって育つ」というこの言葉。落語にも出て来るので初期からあった言葉であると思いますが、実によく出来ていると思います。



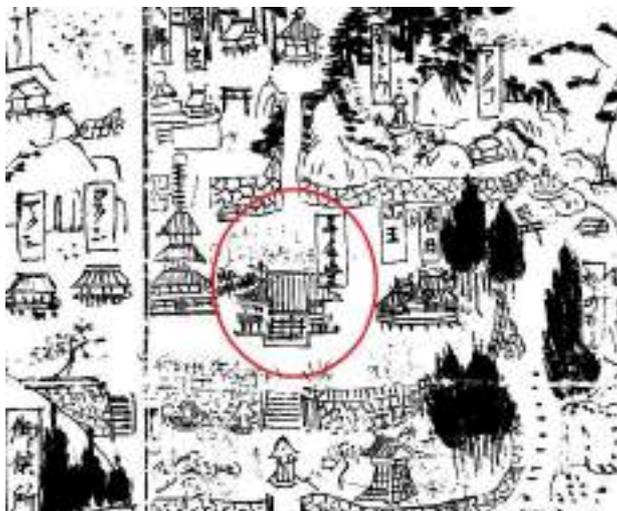
ところで実演の際に、この言葉を信じる観客はどれくらい？私は、半分以上はいると思っていますがどうでしょうか。

筑波山大御堂が新しくなりました

昔あったあれは今どうなっているのだろうか。筑波山に関連するものを中心に軽〜く紹介します。
つくばね会 佐藤 貞弘

一六三三年(寛永一〇年)徳川三代将軍家光により建立された知足院中禅寺は、本堂(大御堂・千手堂)を中心に多くの堂社が立ち並び一大観光地として賑わっていたが、江戸時代から明治時代への転換期に廃仏毀釈の影響を強く受け、大御堂や多くの仏像が焼き捨てられたという。

立案されたが太平洋戦争の激化で中止となった。その後一九五九年(昭和三十四年)に再び計画され、元の場所に向かって左斜め下方向(約二百五十m)の所に、藤代町の総樫造りの民家を買受け一九六一年(昭和三十六年)に完成した。その後鐘楼を建立し現在に至っていたが、この度二年以上の新築工事期間をかけて、本年三月に「**大本山護国寺別院筑波山大御堂本堂、客殿**」が完成しました。



江戸時代の大御堂(常陸国筑波山縁起より)

筑波山旧図 千手堂

物と自然が多く残されており、現在は、年間約二百五十万人という筑波山観光の中心として大勢の参拝者・登山者等で賑わっています。
大御堂の再建計画は一九四〇年(昭和十五年)に

その後大御堂の跡地には一八七五年(明治八年)に筑波山神社拜殿が建立された。境内には江戸時代からの建



沖縄県浦添市にある浦添大公園の街路樹 ←

新しくなった大御堂は男体山、女体山をバックに門前通りからの大きな幅広石段に面し、目の前が一望できる絶景にあります。全国一美しいお寺に生まれ変わりました。本堂でご本尊(千手観世音)を拝観、御朱印(板東三十三観音霊場第二十五番札所)を頂き、このコロナ禍を元気にお過ごし下さい。時節柄お出掛けの際は三蜜を避けマスク着用をお願いします。

休憩中

真夏の暑さを物ともせず「シャーシャー」とか「シャンシャンシャン」と早朝から鳴き騒ぐのは誰？そう、クマゼミ。

携帯電話でワンショット、いったい何匹いるでしょう？写っているだけで1ダース。

あの木にもこの木にも…その喧騒たるや！！関東以北ではあまりお耳にかかりませんが、その体と声の大きさには脱帽です。



↑新しくなった筑波山大御堂

新型コロナ終息を願って

新型コロナウイルスの感染流行は、五月初め少しづつ下火になってきたが、「緊急事態宣言」が解除になりホッとした六月下旬より再び「コロナ第二波」が到来。東京をはじめ全国的に拡大、日を追うごとに感染者が急増、茨城県でも四百人を超えた。

こうした世界的感染の現状から、日本が開催国であるオリンピックの一年延期をはじめ、国際的イベント・都道府県の集まる行事のほとんどが中止・縮小あるいは、無観客となっている。身近な学校も、登校さえまもなく、学年ごとに登校するなど、様変わりしてしまつた。

国は感染予防の基本行動に『不要・不急』の外出はしないことを挙げている。加えて『三密』も感染予防の柱である。

- ① 外出しない、集まらない 『密集』
- ② ニメートル以上離れて 『密接』
- ③ 部屋は閉じない、開けて 『密閉』

また、毎日の身近な生活の中で、続けることが大事な感染予防の生活習慣として、日本老年学会の資料によれば、

- 常に「マスク」をする
- 指の間まで丁寧に「手洗い」をする
- 機に忠じて「うがい」をする
- 必要を感じたら「消毒」をする

等々

新聞が毎日報ずる、新型コロナのきびしい感染の現況からみて、さらなる自粛生活が続くだろう。しかし…この自粛生活

☆部屋にとじこもり、☆一日中テレビを見て、

☆ぼーっとし、☆時に食事をするのを忘れ、

☆誰かと話すことをしない。

- ① そんな毎日が続いたら…身体や頭の働きが低下し、元に復さない。そんな状態を予防するために座っている時間を減らす
- ② 椅子に座ったり立ったり、ゆっくり十回程度意識して三食、バランスのよい食事を摂る
- ③ 口腔を清潔に
- ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

渡辺 由正（九十四歳）



江戸後期弘化三年四月中旬刊行の刷り物（京都大付属図書館収蔵）←

肥後国の夜ごとに海に光り物が現れたため、土地の役人が赴いたところ、アマビエと名乗るものが出現し、役人に対して「当年より六カ年の間は諸国で豊作が続く。しかし同時に疫病が流行するから、私の姿を描き写した絵を人々に早々に見せよ」と予言めたことを告げ、海の中へと帰って行ったとされる。

編集後記

小林旭節で♪そろそろ消えても、いいコロナと一蹴したいけど♪もしも罹ったら、いちコロナに備えることが肝要。同調圧力に辟易しながらも、涼しい顔で終息の日を待ちたいと思います。会の活動もほぼ皆無の今季ですが、お寄せいただいた原稿はいずれも秀逸で中身の濃い版となりました。有難うございます。危険と連日注意喚起される猛暑の中、どうぞご自愛下さい。

自粛期間中の皆様の暮らし向きなど二月末を目途に、ご投稿をお待ちしております。

投稿先アドレス tgod6474@i-next.ne.jp

編集子



皆様も目にする事の多いアマビエの絵。アマビエの誤記ではないか、神社姫・尼彦・海彦などと共通する特徴や関連性が指摘されるなど、由来は諸説ありますが、新型コロナ感染症の平癒の願掛けの対象として、自己流にいろいろアレンジした作品が登場しています。

本県でも「いばらきアマビエちゃん」（ガイドラインに沿って感染防止に取り組む事業者を応援し、感染者と接触した可能性のある方に注意喚起の連絡をするシステム）を導入しています。詳しくは、茨城県のホームページでご確認ください。